

うちなだ 議会だより

Vol.162

令和7年(2025)

8月5日発行



能登半島地震・復旧復興関連事業に 14億円余を補正 6月会議

…… 2-3

委員会レポート

…… 6

復旧復興推進部新設 職員数は足りるのか
大根布小学校 災害復旧工事の詳細は

総務産業建設常任委員会
文教福祉常任委員会

新・議会広報モニターさんの紹介

…… 8

一般質問 6人が登壇

…… 9

街かどインタビュー 壺琴フレンズ

…… 16



事業に14億円余を補正

6月会議
6月3日～
12日

令和7年6月会議は6月3日から12日までの10日間開催され、令和7年度補正予算6件、条例3件、財産の取得や人事案件など計12議案を審議し、全て原案の通り可決、同意、適任とした。また、請願1件を継続審査とした。その他、議会議案「内灘町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について」他1件を可決した。このページでは一般会計補正予算のうち、最大の部分を占めた地震復旧関係経費を特集した。



公立学校施設災害復旧費 8億1620万円

西荒屋小学校復旧工事・工事監理業務

社会教育施設災害復旧費 9878万円

西荒屋・室公民館
新築工事基本・実施設計業務
鶴ヶ丘東公民館復旧工事等

体育施設災害復旧費 1億1713万円

総合グラウンド境界壁解体工事
鶴ヶ丘テニスコート復旧工事等

人事案件

固定資産評価審査委員会委員



古平 真一氏 (52歳)
(再任 白帆台)

人権擁護委員



藤田 邦子氏 (68歳)
(再任 緑台)

5月会議

5月9日

令和6年度一般会計及び4件の特別会計補正予算の専決処分のほか、2件の条例の改正を審議し全て承認した。また、令和7年度一般会計補正予算及び町長の給与の特例に関する条例の制定についてを審議し、全て原案の通り可決した。

町長の給与の特例に関する条例について

町長の現任期中の給料月額額の10%、期末手当の15%、退職手当の20%を令和7年6月1日から減額するもの。

能登半島地震・復旧復興関連

消防施設災害復旧費

4248万円

被災地域コミュニティ
活動維持支援金

792万円

農業機械再取得等支援事業費
補助金

1億530万円

農業用施設及び農業用機械の修繕・再取得補助金

地籍調査事業

5000万円

土地境界の明確化

その他の主な事業

生活家電給与費 400万円

申請期限延長（R7.3月末→R7.9月末）
応急仮設住宅入居者への購入支援

復興推進事業 4300万円

公費解体事業 1700万円

自費解体費用償還金

公共土木施設災害復旧事業
7800万円

幅員 2m 未満の道路及び公園の災害復旧測量設計
業務

西荒屋・室地区仮設集会施設
借上事業

2000万円

北部保育所再建実施設計業務
1034万円



6月会議では、地震復興関連の予算が計上され、西荒屋校区の人々には待ちに待った西荒屋小学校の復旧工事も開始されることになった。入札や工事が順調に進めば令和8年8月末までには校舎棟と体育館棟の復旧工事が完了し来年2学期から再スタートとなりそう。

「母校」とも呼ばれているように学校は人を育む上で極めて重要な場です。歴史に残るような巨大な地震と液状化現象に見舞われ、甚大な被害を受けた西荒屋小学校だが、西暦1882年の創立を誇る歴史のページとしてこの試練をも立派に乗り越え、伝統の輝きを未来の世代に伝えて欲しいものです。

令和7年
5月12日

\\ 友好都市 //

北海道猿払村議会親善訪問団来町

平成27年10月友好都市提携以降、交流を重ねてきた猿払村議会の皆さんが来町されました。



北部地区被災地、歴史民俗資料館 風と砂の館、道の駅内灘サンセットパークなどを視察しました。

5月会議審議議案と採決状況

議案番号	議案名	議員名	議決結果	福島	中村	土屋	西尾	磯貝	七田	川口	恩道	北川	夷藤	清水	中川	南
				誠一	聡	克之	雄次	幸博	満男	正己	正博	悦子	満	文雄	達	守雄
議案第36号	専決処分の承認を求めることについて〔令和6年度内灘町一般会計補正予算(第10号)〕		承認	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	専決処分の承認を求めることについて〔令和6年度内灘町新エネルギー事業特別会計補正予算(第1号)〕		承認	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	専決処分の承認を求めることについて〔令和6年度内灘町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)〕		承認	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	専決処分の承認を求めることについて〔令和6年度内灘町後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)〕		承認	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	専決処分の承認を求めることについて〔令和6年度内灘町介護保険特別会計補正予算(第4号)〕		承認	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	専決処分の承認を求めることについて〔内灘町税条例の一部を改正する条例について〕		承認	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	専決処分の承認を求めることについて〔内灘町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について〕		承認	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	令和7年度内灘町一般会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	町長の給与の特例に関する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○

6月会議審議議案と採決状況

議案番号	議案名	議員名	議決結果	福島	中村	土屋	西尾	磯貝	七田	川口	恩道	北川	夷藤	清水	中川	南
				誠一	聡	克之	雄次	幸博	満男	正己	正博	悦子	満	文雄	達	守雄
議案第45号	令和7年度内灘町一般会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	令和7年度内灘町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	令和7年度内灘町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	令和7年度内灘町介護保険特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	令和7年度内灘町水道事業会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	令和7年度内灘町下水道事業会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	内灘町半島振興対策実施地域における固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	財産の取得について〔学習用タブレット端末 2,383台〕		可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		適任	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
請願第4号	選択的夫婦別姓制度をただちに導入するための国会審議を求める意見書の提出についての請願		継続審査	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議会議案第4号	内灘町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議会議案第5号	内灘町議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、×は反対、棄は議場に不在、欠は欠席、除は除斥、-は採決に加わらない

各委員会委員の選任が行われ、下記のとおり決定いたしました。

議会運営委員会

議会の運営や活動のあり方の問題点をとらえて調査研究し、より適正で円滑な議会運営を目的に、副議長および常任委員会委員長等で構成しています。
(◎は委員長、○は副委員長)



恩道 正博

○清水 文雄

◎中川 達

夷藤 満

西尾 雄次

総務産業建設常任委員会

総務部、復旧復興推進部、都市整備部、消防本部、会計課、議会事務局、監査委員事務局の所管する事務事業を調査、審査する委員会です。



土屋 克之 中川 達 福島 誠一
○川口 正己 ◎恩道 正博 北川 悦子

文教福祉常任委員会

町民福祉部、教育委員会の所管する事務事業を調査、審査する委員会です。



磯貝 幸博 清水 文雄 南 守雄
○中村 聡 ◎西尾 雄次 夷藤 満

議会広報対策特別委員会

議会だよりの編集・発行を担当します。



福島 誠一 北川 悦子
西尾 雄次 ◎中村 聡 ○土屋 克之

議会選出監査委員

南 守雄

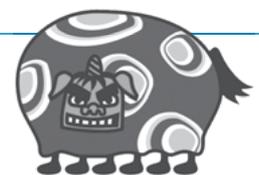
河北郡市広域事務組合議会議員

七田 満男 中川 達
恩道 正博 川口 正己

石川県後期高齢者医療広域連合議会議員

七田 満男

よろしく
お願いします！



おしさん

産業建設常任委員会

復旧復興推進部新設 職員数は足りるのか

◎恩道正博 ○川口正己 中川達
北川悦子 土屋克之 福島誠一

6月委員会では令和7年度内灘町一般会計補正予算などを含む6議案が審査され、すべて可決された。

また、災害公営住宅における入居意向調査の結果についてなどの報告があった。

問 機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例の制定に関連し、職員数は足りているのか。また、被災者の相談窓口の集約を考えているか。

答 今後の復興状況に合わせ、必要に応じて増員していく。ワンストップ窓口コーナーを1階に設け、担当部署の職員が窓口に出向いて対応する事を検討している。

問 風の祭典について、全ての地区が参加できるよう、協力を要請するべき。

答 人手不足など地区ごとに要因があるが、来年度に向けて、各地区および砂丘風の会と協議を進め、多くの地区が参加できるよう、体制を整えたい。

問 昨年12月より実施した災害公営住宅における入居意向調査結果の

報告があり、北部地区の被災者の中にも、南部地区での入居を希望する世帯が一定数いた。南部地区でまとまった世帯が入居できる高層住宅の建設は可能か。

答 周辺環境の配慮など、県と協議しながら必要な戸数を整備できるように検討したい。

問 北部地区の災害公営住宅用地の確保は。

答 用地費は国庫補助の対象にならない。取得価格については、双方が納得できる範囲で交渉を進めたい。



復興の願いをこめて

文教福祉常任委員会

大根布小学校 災害復旧工事の詳細は

◎西尾雄次 ○中村聡 南守雄
清水文雄 夷藤満 磯員幸博

6月委員会では財産の取得について「学習用タブレット端末2,383台を含む5議案が審査され、すべて可決された。

請願第4号選択的夫婦別姓制度をただちに導入するための国会審議を求める意見書の提出についての請願は継続審査とした。

また、西荒屋小学校の復旧工事予算が計上され、被災地の本格復旧に拍車がかかることが期待される。

問 小学生学校給食費無償化について、無償化する前の給食費滞納分はどう対応するのか。

答 無償化の対象は今年度2学期以降であり、それまでの滞納分は引き続き、保護者に納付を求めていく。

問 学習用タブレット端末取得契約について詳細を聞く。

答 石川県GIGAスクール構想推進協議会が実施した共同調達にかかる企画提案審査委員会で選定された業者と随意契約を締結するものであり、前回とは異なる業者との契約である。

問 大根布小学校災害復旧工事について詳細を聞く。

答 令和7年12月26日まで擁壁の復旧工事を行う。7、9月の3カ月間、一部区間を通行止めとするため、周知を徹底する。

問 鶴ヶ丘小学校グラウンドを芝生化するが、維持管理は学校の負担にならないか。

答 町採用の校務員、スクールサポートスタッフに散水、肥料散布を依頼する。ボタン一つで散水可能な設備を導入し、肥料散布の頻度は多くないため、大きな負担を強いることはない。



震災の爪跡

7月1日 復旧復興推進部 新設!!

令和6年能登半島地震からの復旧復興に向け、復旧復興推進部 復興まちづくり推進課、復旧復興推進部 地域再建整備課を新設しました。



復旧復興推進部

復興まちづくり推進課

担当業務：復興計画、地籍調査、生活再建

地域再建整備課

担当業務：液状化対策、災害公営住宅、道路・公園・上下水道（復旧工事）

都市整備部には企画振興課（企画課と地域産業振興課を統合）、都市建設課（都市建設課に上下水道課を統合）が設置されました。

震災復興研修

令和7年4月16日～18日 熊本方面

液状化対策の先進地である

熊本県熊本市 熊本県上益城郡甲佐町

を訪問し、復旧・復興について学んできました。



公営住宅（甲佐町）



研修（熊本市）



研修（甲佐町）



防災用井戸（甲佐町）

平成28年4月14日及び16日に発生した熊本地震は、わずか28時間の間に最大震度7が2回、震度6の地震が5回、余震の累計は4千回超となる観測史上初の大災害だった。

熊本県熊本市近見地区及び秋津町秋田地区、熊本県上益城郡甲佐町芝原団地の両地区とも、地下水位低下工法による地盤沈下事例がないとの返答であった。

当町の最大の問題は、側方流動に伴う境界のずれの大きさであり、その対応の難しさがカギか。

新 議会広報モニターさんの紹介



うえまつ 植松	みさね 美心さん	かが 加賀	はすな 蓮奈さん
かとう 加藤	ゆず 柚子さん	きょうま 京慕	みやび 雅さん
しんたに 新谷	こたろう 鼓太郎さん	すずき 鈴木	るい 琉允さん
たなか 田中	こうた 康太さん	ふくだ 福田	まい 真唯さん
ふわ 府波	ゆづき 結月さん	もりぐち 森口	ゆいな 結菜さん

(順不同)

令和7年5月16日、内灘高等学校生徒会の皆さんに議会広報モニター委嘱状を交付し、議会だよりへの貴重なご意見をいただけるようお願いしてきました。

任期は令和7年9月30日までです。

皆さんどうぞよろしくお願いたします！



令和7年
6月5日

鶴ヶ丘小学校6年生 議会一般質問傍聴



令和7年6月5日、鶴ヶ丘小学校6年生の皆さんが、社会科「国の政治のしくみと選挙」「震災復興の願いを実現する政治」の学習のため、6月会議（一般質問）を傍聴しました。

住民の願いは
こうやって
実現されていくんだね



議会を傍聴してみませんか？

本会議はどなたでも簡単な手続きで傍聴することができます。
本会議当日、役場3階の議場入口で、傍聴受付票に住所・氏名をご記入ください（席には限りがあります）。
定例月の6月・9月・12月・3月は町政に対する一般質問が行われます。
皆さまの傍聴をお待ちしております！

内灘町議会事務局 076-286-6715

一般質問って？

議員が町の一般事務の執行状況や今後の方針、課題などを質問し、政策的提言をすること。
住みやすい町づくりのために、大切な役目を果たしています。



モーさん



質問と答弁の詳細は町ホームページ→内灘町議会→会議録でご覧ください。

町政も問う

一般質問 (6月5日)

6人が登壇

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、その執行状況または将来の方針、政策的提言や行政の問題点・疑問点・課題などを執行機関に問うものです。



会議録

にしお ゆうじ
西尾 雄次 10

- ・歴史民俗資料館「風と砂の館」入館料の無料化を
- ・「世界の凧の祭典」で内灘町の魅力のアピールを



YouTube

いとう みつる
夷藤 満 11

- ・交通安全対策について
 - ・行財政改革の目玉は
- その他2問

きたがわ えつこ
北川 悦子 12

- ・準半壊にも解体補助を
 - ・子ども達の心のケアを
- その他1問

つちや かつゆき
土屋 克之 13

- ・夕陽ヶ丘苑デイサービスの復活を
- ・屋内運動施設をコンフォモール内灘の中へ

ふくしま せいいち
福島 誠一 14

- ・内灘ビーチの賑わいづくりを
 - ・ふるさと納税の返礼品に「コト」消費を
- その他2問

しみず ふみお
清水 文雄 15

- ・復旧・復興対策の見える化を図れ
 - ・内灘海水浴場の防犯・安全対策について
- その他3問

題字 上野雅子さん



るる、にこ
4歳(るる)、2歳(にこ)
♀(るる)、♀(にこ)
カミンヘンダックスフンド
千鳥台



にしお ゆうじ
西尾 雄次

歴史民俗資料館 「風と砂の館」入館料の無料化を 町長 無料化を前向きに検討

問 内灘町は、砂丘上に築かれた町だ。そこでは縄文時代や弥生時代の土器なども出土している。百年ほど前には**※粟崎遊園**と呼ばれた巨大な娯楽施設が作られていた。また七十年ほど前には**※米軍砲弾試射場**が作られ、村民の激しい反対運動は全国に広く知られた。そんな個性に溢れた歴史が気軽に学べるよう、入館料を無料化せよ。



「内灘郷土史の殿堂」をより身近に

答 「風と砂の館」の入館料無料化は、町民がこれまで以上に足を運びやすい環境を生み、郷土の自然や歴史・文化を学ぶ機会が増え、ふるさとに対する思いや知識を深めることにつながる。従って、今後、近隣施設の状況なども確認し、施設運営の業務の効率化を図り、入館料を無料化することについて前向きに検討する。



今年の世界の風の祭典の風景

風で町の魅力アピール

問 世界の風の祭典は、広大な砂浜を持つ内灘町の魅力を県内外に伝える絶好の機会であり、大事なお祭りだ。今年は、県外からの参加者は36人、県内の参加者は151人だった。また町内の参加者も886人と往時に比べて大幅に減っている。今後、県内外からの参加者を増やすための工夫や町内各地区の参加者を増やす対策を伺いたい。

答 世界の風の祭典は、内灘町を代表するイベントとして町の魅力を発信する絶好の機会と捉えている。今後、県外からの参加者を増やすため、全国大会の会場で本町の世界の風の祭典への参加を呼びかけたい。また、日本海内灘砂丘風の会や地区公民館の意見も伺いながら、参加者を増やす取り組みや担い手育成等も検討したい。

※粟崎遊園

1925年、金沢の材木商・平澤嘉太郎が向粟崎の砂丘地に開園させた粟崎遊園は、約6万坪の敷地に大劇場や大浴場、動物園などを備えていた。少女歌劇なども人気を博し、「北陸の宝塚」とうたわれた。しかし、戦争の激化により休園に追い込まれ、1944年には軍の施設などに転用された。

※米軍砲弾試射場

1952年、日本海を含めて砂丘地帯を米軍砲弾試射場に接収された。翌1953年には全国の労働者、学生、知識人らの支援を受け、後に「内灘闘争」と呼ばれる大規模な接収反対運動が展開された。内灘村民らは「金は一年、土地は万年」のムシ口旗を掲げ、着弾地近くの権現森などに座り込んで激しく抵抗した。



いとう みる 夷藤 満

危険な横断歩道 押しボタン信号機を要望 安全対策を講じていく 町長

一般質問



待たれる押しボタン信号機

問 幹13号諸江・向粟崎線で、3件の交通死亡事故が発生している。地元の方々から何度となく相談を受けてきたが、解決策が見いだせないまま、貴い命が失われた。同じ道路で繰り返し痛ましい交通事故が起きている場合、多角的な対応策が有効である。当然ながら、行政、警察、地域が連携して行うことが最も重要だ。

答 ドライバーから横断歩道の歩行者をより見やすくし、視界を確保するための中央分離帯の改修費用を6月会議補正予算に上程した。今後も引き続き、警察や地域の方と連携しながら、人命を守ることを最優先に、必要な安全対策を講じていきたい。

問 大変厳しい財政状況の中、令和6年能登半島地震が発災した。復旧・復興に全力を挙げて取り組む中、今後の行財政改革の目玉はなにか。

答 老朽化した学校給食共同調理場の建設に向け、基金創設の検討を進めている。財政規律を緩めず適正な歳入の確保に努め、事業の選択と集中により行

行財政改革の目玉は

問 中学校部活動地域移行について、町の考えを聞く。

答 指導者の新規資格取得を補助し、指導者増員を支援していく。次年度以降の地域クラブの費用負担などを検討し、関係団体と協議しながら、来年9月までに休日の地域移行完全実施を目指す。



補助金見直し検討を

問 全国大会出場補助金の拡大、対象経費の見直しを行い、補助金の上乗せを検討してはどうか。

答 選手、家族の負担を軽減し、スポーツ振興を図るため、制度拡充を進めていく。

その他の質問

準半壊にも解体補助を 町長 新たな補助制度の創設を



きたがわ えつこ
北川 悦子

問 準半壊のため公費解体ができない。災害公営住宅にも入れない。もらえる支援金も少ない。住める準半壊ならよいが住めない方がいる。

町長の公約に、準半壊判定で、現実的には使用困難と判断される建物の解体費用を補助するところ。早急な具体化を。側方流動を伴う液状化を罹災証明書に、もっと反映させることが必要だ。



公費解体進むが…

答 能登創造的復興支援交付金を活用した新たな解体費用の補助制度創設を検討しており、県にも要望している。

令和6年10月に内閣府が液状化被害の運用指針の検証に係る打合せを開催し、被害認定調査における課題等を把握するため、内灘町を含む4市町がヒアリングを受けた。引き続き判定基準の見直しを要望していく。

心のケアを

問 被災した西荒屋小は鶴ヶ丘小に間借りしている。両校児童たちに疲れが出始める頃で、心の支援が必要だ。学校での取り組みの現状を聞く。

保護者の方から、安心して西荒屋小や北部保育所へ通えるようにし、人口を増やしていきたいという熱い思いを聞いた。子育て世帯を対象にした説明会を開いてほしい。

答 昨年度から普通教室のフロアを分け、落ち着いて学校生活を送る体制を整えた。体育館の使い方など約束事をそろえることや、マラソン大会などを合同で実施し、両校の児童が交流する機会を増やしていく。

今後は、より多くの保護者が参加しやすい時間帯でも説明会を開催していく。



一緒に楽しむ（西荒屋小・鶴ヶ丘小）

その他の質問

問 防災教育の現状と今後について問う。

答 避難訓練を実施しており、今後も心身の状況を見極めながら防災教育を実施していく。



つちや かつゆき
土屋 克之

夕陽ヶ丘苑デイサービスの復活を 新たな施設誘致は求めない 町民福祉部長

一般質問



結果的に介護保険料が削減

問 「※団塊の世代」が全員75歳以上になり、およそ5人に1人が後期高齢者となる。「2025年問題」とも呼ばれ、医療や介護などの体制をどのように拡大していくかが大きな課題となる。令和7年度の町の医療・介護に対する国や県の交付金の見込み額は。

答 合計約27億3千万円を見込んでいます。

問 原資の大半が消費税だが、非常に大きな金額になっている。

答 特別養護老人ホーム併設のデイサービスは、一貫した連携で、サービスの重複や無駄をなくし、結果的に介護保険料の削減につながる。夕陽ヶ丘苑デイサービスの復活を推奨できないか。

問 東京五輪スケートボード女子銅メダリスト中山楓奈選手ゆかりのスケートボード練習場・アカケンパークが、令和7年1月5日にコンフォモール内灘へ移転した。すぐ近くのゲオ内灘店の跡地を賃借し、町営の屋内運動施設を設置できれば、巨大な子育てスポーツ拠点ができる。このように大型貸店舗を活用する考えはないか。

屋内運動施設をコンフォモール内灘の中へ

答 施設の管理運営やラニングコストなどの課題があり、難しいと考えている。

しかしながら、屋内遊び場や図書館など、幅広い社会福祉サービスに対応できる複合型多世代・多目的交流施設は、必要であると考えている。

令和6年能登半島地震からの復旧・復興を第一に、その道筋がついた後、検討したい。



巨大な子育てスポーツ拠点を

※団塊の世代
1947年(昭和22年)から3年間の「第1次ベビーブーム」に生まれた人たちのこと。



ふくしま せいichi
福島 誠一

内灘ビーチの賑わいづくりを 町長 8月に花火とコンサート

問 夏の内灘ビーチは、町のイメージアップ、PR、観光のチャンスでもある。外国人も増えており、海水浴以外でもビーチを楽しむ観光客が非常に多い。色とりどりの傘や風船を上空に並べたアート天井や自由に使えるステージがあってもよい。リピーターも呼び込んでいけるよう、ビーチを活性化するイベントをぜひともこの夏から。



海岸に賑わいを

答 5月に世界の風の祭典を開催した。7月中旬から8月中旬には、町営の内灘海水浴場を開設する。8月23日には、町商工会による内灘サンセットアワーが開催され、様々な催物のほか、武田真治氏を迎えてミュージックライブを行う。会場では復興祈念の花火も予定。



返礼品メニューの拡大を

ふるさと納税の返礼品に「コト」消費を

問 ふるさと納税は貴重で大切な町の収入源。本町の返礼品には、ポテンシャルはある。返礼品として地域の特産も好評ではあるが、サービス提供や体験型など「コト」消費のユニークなメニューが全国各地で展開されている。唯一無二の返礼品メニューの発掘・拡大は、町のPRにもつながる。取組の姿勢、戦略を問う。

答 ふるさと納税返礼品のメニューについては、体験などの「コト」消費が増えており、全国的にもラインナップが広がっている。町を訪れていただくきっかけや、町のPRにもつながる。新規の返礼品を広く募集するとともに、魅力的な「コト」消費の返礼品を生み出し、メニュー拡大に取り組む。

その他の質問

問 応急仮設住宅での雪かきは自助の範囲をこえている。情報発信や地元町会等との連携を。

答 社協と連携し、町LINEなどでボランティア募集を発進、除雪会議でも地域に協力を求める。

問 他県では下水道管破裂や風力発電の羽根が折れる事故。本町での公共施設設備の点検と対応は。

答 適宜点検を実施し、不具合が確認された場合には必要に応じて修繕等を行っている。

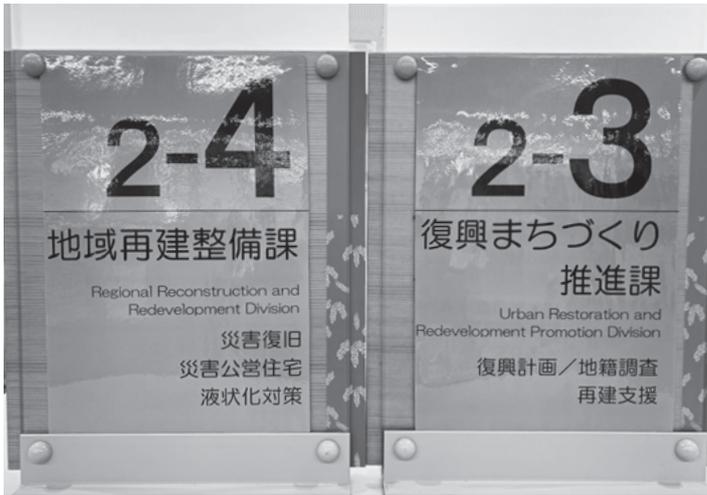


しみず 清水 ふうみお 文雄

復旧・復興対策の見える化を図れ

災害対策情報紙を随時発行 町長

一般質問



復旧・復興対策の一層の推進と見える化をめざす

問 議会では復興に向けた視察研修のため、熊本県へ行った。熊本市近見地区では「ちかみらい通信」を発行し、復旧・復興対策の進捗状況を、住民説明会に出られない人をはじめ全戸に配布し、復旧・復興対策の見える化を図っていた。町長は災害対策情報に関する広報紙を発行する意向を住民説明会で示したが、その概要を聞く。

答 広報うちなだとは別の形式で、被災地区へは全戸配布、被災地区以外へは回覧板形式を検討。町ホームページや公式LINEなどのデジタル配信を考えている。財源として能登創造的復興支援交付金の活用を要望しており、交付金が決定された次第、発行したい。随時発行し、担当部署は復旧復興推進部を予定している。

問 7月19日から8月17日までの午前9時から午後5時まで開設。安全対策は、内灘海岸安全会議で、安全管理体制や合同パトロールの実施などを協議する。ごみ対策は、

答 県の行政代執行で旧浜茶屋が撤去されてから初めて内灘海水浴場が開設される。海水浴場開設の概要、防犯・安全対策、ごみ対策の考えを聞く。

2年ぶり海水浴場開設



海岸及びその周辺地域で土日や夜間のパトカーでの巡回を強化、犯罪抑止が図られる！

問 津幡警察署に要請したが、移動交番は設置せず、海岸、周辺地域で土日や夜間のパトカーでの巡回を強化し、犯罪抑止を図る方針と回答を得た。

答 移動交番設置を関係機関に要請する考えはないか。

問 災害協定を締結している自治体や民間企業等の一覧表を作成し、町民に情報の共有を図れ。

答 ホームページの町地域防災計画に一覧を公表しており、より容易に確認できるよう工夫したい。

問 民間企業等との災害協定締結を、より推進していく考えはないか。

答 民間企業等と締結している災害協定は何件か。本年5月末現在、生活必需品や施設の提供など、計23件。

その他の質問

問 民間企業等と締結している災害協定は何件か。

突撃!

街かどインタビュー

何時までもアオハル

町の団体シリーズ⑳



2列目左
代表 西田 洋子さん

◆**堅琴フレンズとはどのようなグループですか。**
○音楽愛好家が集まり、内灘町文化協会に入会し設立されたのは、令和5年11月です。まだ発足したての新しいグループです。当初は13名で始まりましたが、現在は18名になりました。まだまだ会員募集中ですので興味の沸いた方はぜひ、お待ちしております。



◆**堅琴とはどんなものですか。**
○堅琴と聞いて皆さんが思い浮かぶのは、ビルマの堅琴と言言葉だと思えますが、実際に堅琴を目にする機会は少ないと思います。オーケストラのハープの小さくした形状で私達の使っているものは、弦が25本で40センチ四方の物です。



県庁19階にて

◆**練習場所や、具体的な活動はどんなものがありますか。**
○練習場所は、宮坂公民館、大学公民館、ハマナス楽器などで曜日、時間を決めて会員の皆さんが集合しやすく練習できるように努めています。活動内容は、町のアカシアロマンチック祭、8月に行われる合同発表会また各町会などから声が掛ければ各公民館や福祉サロンまた、県庁19階の展望ラウンジなどで演奏活動をしています。



アカシアロマンチック祭

◆**町や議会に望むことはありますか。**

○役場庁舎に用事があり徒歩で行くのですが、花の植栽など手入れをしているのは良いのですが、通路のコケや池の水の濁りが気になります。また、各所の公園の雑草が気になります。特にハマナスの中国公園の池がとても汚い、亀とかも住み着いていて近くに保育園もあるので綺麗にしてほしいです。

◆**ありがとうございました。**

インタビュー

中村 聡

編集後記

議会6月会議では全議案を可決し、震災の復旧復興事業が加速していきます。人口減少対策も待たなすです。

朝ドラ「あんぱん」の影響で、やなせたかし氏に興味をもちました。歌や絵本、アニメなど、やなせ氏は作品を通して、自己犠牲、生きる意味、命の尊厳など、人生を豊かにするヒントを与えてくれます。作詞したアニメ主題歌にはこんなフレーズがあります。『アンパンマンは君さ月君はやさしいヒーローさ。』

被災前の日常を取り戻すには、行政と町民の皆さんの協力が欠かせません。内灘町に住む誰もが主人公でありヒーローです。みんなで難局を乗り越えていきましょう。

〔委員 福島 誠一〕

広報対策特別委員会

- 委員長 中村 聡
- 委員 土屋 克之
- 委員 北川 悦子
- 委員 西尾 雄次
- 委員 福島 誠一